

矢臼別演習場（火入れ）実施計画

1 目 的

野火発生の多発期にあたり、関係地区の火入れを実施し火災発生の未然防止を図る。

2 期間及び日程

(1) 期 間

令和4年5月10日（水）～5月17日（水）

(2) 日 程

付紙第1「日程表」

3 場 所

付図「矢臼別演習場周辺案内図」

4 編成等

(1) 火入れ作業員

約460名

(2) 装 備

車両約180両、ヘリコプター1機、空中消火器材1セット、水トレーラー車7両、ジェットシューター42基

5 実施要領

(1) 事前準備

火入れ当日の釧根地方の局地気象を確実に把握する。

(2) 防火線の構築

火入れ地域を10,000㎡に区画して実施する。

(3) 火入れ

ア 火入れは、当初外側防火帯沿いの防火線で区画した1区画毎実施した後、内側地域を風下の地域から風上の地域に逐次実施する。

イ 監視及び消火体制

(ア) 監視員により地上及び空中監視を実施する。

(イ) 飛び火等が発生した場合は、直ちに初期消火に全力を尽くす。

(ロ) 消火は地上監視消火隊等を同時に急派するとともにヘリコプターによる空中消火に最善を尽くす。

(エ) 延焼時の対処は、初期消火に任じている部隊と共同して消火に全力を尽くすとともに、予備の人員をもって延焼拡大防止線を構築する。

(4) 残火監視

ア 火入れが2日以上にわたる場合は、当日の消火終了から翌日の火入れ開始まで監視を実施する。

イ 火入れの作業が終了した場合、消火終了から24時間残火監視する。

6 その他

付紙第2「火入れ届出書」

日 程 表

月	日	曜日	実 施 事 項	備 考
5	1 0	水	火入れ準備	
	1 1	木	火入れ準備	
	1 2	金	火入れ・鎮火後残火監視	
	1 3	土	火入れ・鎮火後残火監視	
	1 4	日	予備日	
	1 5	月	予備日	
	1 6	火	予備日	
	1 7	水	予備日	

火 入 れ 届 出 書

火 入 れ 期 間	自	令和 5 年 5 月 1 0 日 (水)	火入れ者住所氏名
	至	令和 5 年 5 月 1 7 日 (水)	野付郡別海町西春別 4 2 - 1 陸上自衛隊別海駐屯地業務隊長
火 入 れ 地	住 所	陸上自衛隊矢白別演習場内 (詳細 : 付図参照)	
	面 積	1,800,000 m ²	
	時 間	午前 8 時から午後 6 時まで	
	1 キロメートル以内の国有林・道有林の有無		有・ ☒ 無

森林法第 2 1 条第 1 項の規定 (準用) により通知します。

令和 5 年 4 月 1 9 日

矢臼別演習場周辺案内図

